

平成 15 年度 静岡県防災会議報告

機関名: (社) 静岡県プロパンガス協会

委員名: 藤原 明

静岡県プロパンガス協会の地震防災対策

1 経 緯

- ・ 当協会は、県内の LP ガス販売業者等 765 社 (976 事業所) が加入し、消費者及び公共の安全を確保するため、自主保安体制の確立に努めている。
- ・ 特に東海地震対策としては、他県に先駆けて LP ガス容器の転倒によるガス放出事故を未然に防ぐ「ガス放出防止器」や「耐震自動遮断装置」をほぼ全消費者宅 (92 万戸) に設置し、また、地震発災後の早期復旧を図るため、組織・連絡体制や緊急対策、応急資機材等を定めた「協会防災対策要綱」を策定している。

2 最近の地震防災活動

(1) 地震防災訓練

- ・ 訓練日時 平成 15 年 3 月 8 日 (土) 9:00 ~ 11:00
- ・ 訓練項目 情報伝達訓練 (被災状況、復旧対応、応援隊員・物資要請)
本部 支部 (東、中、西部) 28 地区
本部 県災害対策本部、日本エルピーガス連合会、日本エルピーガス供給機器工業会等
応急措置訓練 (田方、富士、焼津、浜松地区)
県内 4 地区において消費者宅 (各 50 戸) の LP ガス施設をローラー作戦により調査点検及び応急措置
- ・ 参加者 協会員、県防災局員等 330 名
- ・ 成果 地震に対する会員の意識高揚のほか、従来の協会防災対策の問題点や課題が確認できた。

(2) 地震防災講演会

- ・ 開催日 平成 15 年 7 月 3 日 (木) グランシップ
- ・ 内 容 「阪神・淡路大震災を受けて思うこと」
伊丹産業株式会社 保安部次長 難波良二氏
「東海地震の現状と対応」
静岡県地震防災センター 地震防災アドバイザー 川端信正氏

3 今後の取り組み

- ・ 地震防災訓練の結果を踏まえ、今年度内に防災組織体制の見直しや災对本部建物の耐震診断、通信手段・設備、非常電源設備等について検討、整備する予定であり、今後とも地震対策の充実に努めていきたい。